～耕畜連携による経営安定を目指す～
水田フル活用　セミナー
開催要領

１　目　的

水田を基盤とする集落営農法人等では、主食用米の価格変動等により経営の安定化が課題となっている。

一方、畜産経営体では、飼料価格の高騰や夏季高温による牧草の生育不良等により、自給飼料の安定確保が課題となっている。

そこで、耕種農家と畜産農家が連携し、水田における麦類等の飼料利用を通じた水田フル活用を学ぶとともに、実践事例や導入のポイントを共有することで、経営体の収益向上と地域農業の持続的発展に資することを目的とする。

２　主　催　　奥州農業改良普及センター

３　日　時　　令和８年 12 月 21 日（月）　13：30 ～ 16：00

４　場　所　　プラザイン水沢 ２階 プラザホール（奥州市水沢佐倉河後田 29）

５　内　容

⑴　講演

演題　「作期をつなぐ技術から考える水田フル活用」
～ 麦作導入による水田高度利用と飼料確保 ～

講師　盛岡農業改良普及センター 技術主幹 高橋昭喜 氏

⑵　パネルディスカッション

テーマ　耕種・畜産それぞれの視点から考える水田フル活用

座長　　奥州農業改良普及センター　所長　田野島義人

パネラー（ 講　師 ）　盛岡農業改良普及センター　高橋昭喜氏
（耕種農家）　農事組合法人 プロファ一関　小野寺清悦氏
（畜産農家）　一関市花泉町　皆川真武氏
（支援機関）　奥州農業改良普及センター　小川音々
（　〃　）　一関農業改良普及センター　大友英嗣

６　参集範囲　県内の集落営農組織等耕種経営体、畜産経営体、関係機関・団体

７　定　員　　60 名
定員超過の際は、Web(Zoom)での受講をお願いする場合があります。
ご了承ください。

８　出席報告　別紙様式により報告（期限：令和８年 12 月 11 日（金））